

令和5年度各会計予算 に対する各会派等の

意見表(要旨)

公明党

令和5年度一般会計と3特別会計予算、一般会計補正予算第1号に賛成。以下、款別に意見、要望を述べる。
政策経営費・総務費

●SDGs未来都市推進費は、企業認証制度の早期導入を。●防犯カメラの設置補助事業の予算拡充を。
区民費・福祉費・衛生費

●福祉部門の「断らない相談支援」で誰一人取り残さない区政を。●浴場空白地域から浴場までの送迎対策と、おたっしやカードの隣接区利用を。●がん患者ウイッグ等購入費の助成額拡充を。
環境清掃費・都市整備費

●高齢者等への入居拒否がないよう、住宅オーナーにも配慮した施策を。●コイン式駐車場のICカード等電子決済化を。
文化商工費・子ども家庭費・教育費

●自閉症・情緒障害特別支援学級は、通常学級との交流、共同学習の推進を。●子どもスキップは、職員の働きやすい環境づくりを。
●小学校入退管理システムは、全学年での無料利用を。●ふるさと納税は、伝統工芸品等区の特性を活かした返礼品の導入を。

自民党豊島区議団

令和5年度一般会計予算、3特別会計予算、一般会計補正予算第1号に賛成。

5年度予算は、コロナ禍・物価高騰に直面する区民生活を支え、価値あるまちづくりを推進し、区制100周年に向けて本区を更に躍進させる予算として高く評価。款別に見ると、総務費では、防災対策全般において地域の皆様と力を合わせ防災力の向上を。衛生費の新型コロナウイルス感染症対応は、個別接種の状況を踏まえ、今後の集団接種会場・接種体制の見直しを。都市整備費の長崎地区の沿道まちづくりについて、地域の期待にこたえ実な展開を。文化商工費の商店街プレミアム付地域商品券事業では、商店街の大小にかかわらず、より参加しやすい方法の検討を。子ども家庭費では、

としまの子ども応援給付金事業について緊急要望を踏まえた対応を高く評価。制度の周知徹底と給付金の早期支給を。児童虐待防止では、子供と家族にとって最善の支援を期待。特別会計の国民健康保険事業会計では、負担の公平性を考慮し、必要な財源措置を国へ要望し制度の安定的運営を。

都民ファーストの会民主

都民ファースト、情報公開、賢い支出、持続可能性に加え、高野区長の遺志を引き継ぎ、本区がより良い街になる予算かという観点で審査。ウィズコロナ時代に向け、国際アート・カルチャー都市、SDGs未来都市、人が主役のウオーカブル都市を実現し、持続発展都市となることを確認。

5年度一般会計・3特別会計及び一般会計補正1号予算は原案を可決すべきと判断。高野区長が最後に編成した予算の執行に魂を込めていた、たくよう望む。

以下、主な提案・要望を述べる。行政のDX化による更なる区民サービスの向上を。マンホールトイレ整備事業の着実な実施を。デジタル化推進など町会活動へ更なる支援を。民生児童委員の更なる充足率の向上を。池袋駅東口の再開発や街区再編事業では、地域の声を吸い上げて推進を。住宅ストックの適正化へ引き続きの取組を。伝統工芸の後継者育成や販路拡大など寄り添った支援を。学校現場の備品は改築校と未改築校の格差を埋める取組を。介護サービス事業者へ引き続きの必要な支援を。

日本共産党

23年度一般会計予算に反対する。

第1にコロナ禍、物価高騰により一層深刻となった区民生活を直視し、暮らし、福祉、教育、防災等、区民需要に応える予算にならなければならない。学校給食費の無償化、区独自の学費補助、給付型奨学金などの支援を実施すべき。中小企業支援の継続、拡充を求める。住宅対策は公営住宅の増設も少なく、家賃助成も不十分。防災対策は人員体制の拡充、家具転倒防止金具設置助成が必要。学校施設等長寿命化計画を早急に具体化し、

学校改築を進めるべき。第2に大型開発・来街者優先のまちづくりを進め、住民追い出しと無駄遣いを進めている。まちづくりは区民が主役と認識すべき。再開発や旧庁舎跡地と周辺まちづくり、イケアバスなどに多額の税金を投入している。第3にアベノミクス、新自由主義政策の国いいなりの政治姿勢である。三特別会計について、保険料が大幅増額の国民健康保険、窓口負担増の後期高齢者医療、必要な介護が受けられず、利用者負担増の介護保険に反対。

無所属の会

本区に住む外国人も含めた全ての区民、乳幼児から高齢者までの求める必要な行政サービスが、困窮する世帯や問題を抱え悩んでいる方にまでしっかりと行き届いているか、必要な施策の見極めと予算執行が将来にわたって持続可能か等の視点を基に質疑を行った。

款別に要望を踏まえ意見を述べる。池袋駅周辺の悪質なナンパなどの対策強化を図り安全安心なまちづくりを。地域猫協議会の支援拡充を。精神障害者支援では、本人、家族、地域に寄り添い、関係機関の連携を図り課題解決を。安心住まい提供事業について、住宅登録制の導入などの検討を。ファミリリー・サポート・センター事業の利用会員登録、更新手続きをオンラインでできる体制整備を。介護保険事業について、2024年度策定の第9期介護保険事業計画の改定に向け、国や都に負担増に至らない措置を講じるよう要求を。

真に「誰一人取り残さない」施策の推進に尽力いただくことをお願いし、令和5年度一般会計予算、3特別会計予算、一般会計補正1号に賛成する。

立憲民主

令和5年度一般会計予算及び3特別会計予算並びに一般会計補正予算第1号に賛成。以下款別の審査を踏まえ、意見を述べる。

パートナースキップ制度を同棲カップルの子や親までも含めたファミリリーシップ制度の導入を。救援センター開設に当たり、チームワーク作りのため、災害対策要員が日頃から地域の方と顔の見える関係になるような取組を。区民ひろば仰高のようにエレベーターや建て替え用地もないひろばで、利用者に配慮した弾力的な運用を。染井通りの無電中化では、住民と行政が共に考え、共に責任を持つ「ファミリリー・シジョン型」のまちづくりを。コロナ禍で一方的に奪われた子供達のコミュニケーションの影響調査及び、それを取り戻す「表現教育」などのプログラム導入を。池袋演劇祭参加者には「セクハラ・パワハラ防止プログラム」の受講及び、目安箱を設けるなど、セクハラ・パワハラ

の断固たる取組を。駒込のソメイヨシノは寿命を迎えた桜もあり、怪我や物損につながる恐れがある。順次植え替えの検討を。

立憲としま

令和5年度一般会計予算及び3特別会計予算並びに一般会計補正予算第1号に賛成。

予算審査に当たっては、物価高騰などにより区民生活が大きな影響を受けている中、現場の声がしっかりと反映されているかという視点で実施。款別に見ると、区民の財産である公共施設等の適正管理を。HPVワクチン接種の男性への助成を。教育現場や医療機関と連携し、児童・生徒へ正しい知識を伝えるがん教育や性教育の実施を。経済的負担を軽減する高齢者への紙おむつ等助成を評価。中規模公園活用事業における地元住民や大学生と連携した地域イベントの実施等による今後の広がりに期待。若者の居場所応援事業について、利用者が安心して過ごせる空間となるよう委託事業者への支援を行うとともに、公共施設等に居場所の創出を。部活動の地域連携等について、教員の働き方改革と共に実情に応じた実施を。子供育て支援の充実について、少子化が進んでいるからこそ、区独自に0歳児を持つ世帯へのおむつ支給を。

つ世帯へのおむつ支給を。